

事業所名：地域密着型特別養護老人ホーム なつぼ

運営推進会議開催報告書 ①

開催日時 令和 6 年 8 月 20 日（火） 14:00 ～

参加者

家族：2名 地域：1名
地域包括支援センター： 1名
事業所： 5名

議題 内容

参加者自己紹介、施設長挨拶

1 ①地域密着型特別養護老人ホームなつぼ

ユニット型施設としての説明。

施設見学時のチェックポイントについて。

食事、排泄、居室備品、職員の姿勢の4点について説明を行った。

施設長より、基本的人権を尊重していく姿勢について説明。

チェックポイントを意識して頂きながら、ユニット見学を実施した。

包括職員：施設を探している人に紹介するような場面もあるので

今回の説明も活用していきたい。

地域参加者：高齢者施設のイメージが変わった。

質問として現在の状態を直すようなところはあるのでしょうか？

→職員研鑽に努めること、介護事故があった後に修正されるような点、

建物による制限を考えた支援の変更、居室のしつらえ、

等様々あると考えている。

家族：・建物には基準があるのでしょうか？介護職には資格が必要なんでしょうか？

→施設には基準があります。居室は基準通りであり、リビングは基準より広い。

介護職員には認知症介護基礎研修が義務付けになった。

それ以外にはなく、経験や知識がある人、未経験に近い人とがいる。

・家族でもあるが病院に勤務していたことも長いし老人病棟も見てきた。

なつぼは独特のにおいも感じないし日々清潔にされているのだと感じた。

ユニットで調理することで、匂いであったり音であったりを感じる、

説明を受けてなるほどと感じた。

職員：従来型と呼ばれる特養とは、仕組みが違ってきている。

一斉の時間割的な介護から、より個別介護を提供できるようになってきた。

食事について、管理され栄養的に良い食事提供の方法と、より個別な嗜好

にに応じていくこと。難しさもあるが、最後の一口で好きなものを召し上げる

ことの手伝いができたりと、学びながら取り組んでいる。

看護についても日々、食事のみこみ、手の動き、歩行等ADLを

観察し、取り組んでいる。多職種の視点が大事、相談しながら対応している。

職員が楽しそうでないと利用者も楽しくないと思うので楽しむように意識している。

2 皆様からのご要望、ご意見等、お知らせしたい情報等

奈坪神社、奉納が11月23日。敬老会イベントが9月8日。

75歳以上の方に商品券が配られます。

3 その他

次回、10月15日（火）14:00～